



2017年2月13日

防災ジャパンダプロジェクトが「第2回^{エイキャップ}ACAP消費者志向活動章」を受章

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、防災教育の普及啓発を行う「防災ジャパンダプロジェクト」の取組みが評価され、「第2回ACAP（エイキャップ）消費者志向活動章」を受章しました。

1. 防災ジャパンダプロジェクトの概要

防災ジャパンダプロジェクトは、将来を担う子どもたちとその保護者を対象に、災害から身を守るための知識や安全な行動を学んでもらうことを目的として、「防災人形劇」や「体験型防災ワークショップ」を行うプロジェクトです。取引先企業や地域の自治体等と協働し、全国で開催しています。

防災ジャパンダプロジェクトの展開については、以下リンク先をご参照ください。

<http://www.sjnk.co.jp/csr/environment/eco/bousai/>

2. ACAP消費者志向活動章の受章理由

ACAP消費者志向活動表彰は、消費者庁主催「消費者支援功労者表彰・シンポジウム」における民間表彰（ACAP賞）を刷新し、2015年度から実施されている表彰制度です。

企業等の団体または個人の活動のうち、消費者志向経営を推進し支援する観点から称賛に値するものが「消費者志向活動章」として表彰されます。

本受章では、以下について評価されました。

- ・本業である損害保険事業と関連した社会貢献であり、一部門の活動ではなく全社的な取組みとして実施していること。
- ・地域の自治体やNPO法人、学校など多様な主体との連携により全国的に展開していること。
- ・体験型ワークショップであること。

3. 今後の展開

損保ジャパン日本興亜は、保険会社の使命として、自然災害への備えの重要性について、より多くの皆さまにご理解いただけるよう、今後も全国でこのプロジェクトを展開していきます。



2017年2月10日に行われた表彰式の様子

以上